

1 学校課題

本校は、全校生徒23名の少人数の学校である。「目が行き届き、細やかな指導ができる」ことや「学年・性別関係なく仲が良い」こと、「全員に活躍の場が与えられる」などの利点が挙げられるが、「固定化した人間関係」や「コミュニケーション能力の不足」などの課題が挙げられる。地域の人々は、学校に協力的であり、地域人材、地域資源を活用した授業を通して、より一層学校とのつながりが密になってきている。また、ICT機器を活用した授業も積極的に行い、タブレットやTV会議システムを利用した授業にも積極的に取り組んできた。昨年度の課題として、地域資源などを活用した授業について小学校との連携をどのようにしていくか、総合的な学習だけでなく各教科にどのように取り入れていくか、またICT機器の利用にはメリットがあるが、機器の進歩は目まぐるしく、その進歩に全ての教師がその進歩に対処しながら活用していることについて課題が残った。これらの課題を今年度は中心に取り組み、研究主題に迫っていききたい。

2 研究主題

主題 「主体的に学ぶ生徒の育成」(研究の目的)

副主題 ～ 地域資源、ICT機器などを活用した授業を通して ～

3 主題設定の理由

現代の社会は目まぐるしいスピードで変化が進み、今の子どもたちが活躍する頃には厳しい挑戦の時代を迎えると言われている。グローバル化が進展し、絶え間ない技術革新により社会構造や雇用環境は大きく変化し、今までの価値観だけでは対応できない社会がくることも予想されている。そんな中、学校教育には、「子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協同して課題を解決していくこと」、「様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、情報を再構築するなどして、新たな価値につなげていくこと」、「複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようになること」が求められている。また「甲州市『確かな学力』育成プロジェクト」においても、Q-U検査を活用した学級づくり、授業づくりを行い、「思考力」、「判断力」、「表現力」の育成をはじめとする学習活動の課題を洗い出し、甲州市児童生徒の確かな学力の定着・向上を図っている。その中でも「主体的で対話的な深い学び」の視点からの授業改善が求められている。

本校は、昨年度まで「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」、「学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業」の研究指定を受け、小規模校の特色や環境を活かした教育を目指し、先進的ICT環境を整え、地域活性化の取り組み、学校連携ネットワークの構築及び交流、同期型CSCL授業の開発などの研究を進めてきた。また、コミュニティ・スクールの導入では、地域の人的・物的資源を活用し社会と目標を共有・連携しながら、共同して生徒たちの育成を目指して研究を進め、成果を挙げることができた。今年度は、昨年度の成果と課題をふまえ、変化に柔軟に対応できる生徒の育成を目指し、地域人材やICT機器を利用した授業を通して、地域を大切にする生徒をはぐくむとともに、「主体的に学ぶ生徒の育成」を目指した研究を進めていききたい。

4. 具体的な研究内容

1) 地域資源を活用した授業づくり

- ・ 地域・保護者との連携
- ・ 地域人材の活用
- ・ 地域で学び、地域に生活する一人としての誇りを持つ

2) ICT機器を利用した学習活動の工夫

- ・ ICT機器の有効な活用方法や指導法の研究・検証
- ・ 一人一台パソコンの活用方法の研究

3) 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトと連携した学力の向上

- ・ 甲州市「ティーチャーズ・ノート」を基盤とした授業づくり
- ・ Q-Uの分析をもとにした学級づくり、授業づくり
- ・ やまプロノートなどを使用した家庭学習への指導

5 年間研修計画

回数	研究内容	担当者	実施予定日	T・C
1	昨年度までの校内研究について	研究主任	4月 3日 (金)	
2	今年度の研究について (主題・内容等)	研究主任	4月10日 (金)	
3	研究内容・計画の決定 部会研究①	研究主任 部会長	4月17日 (金)	
4	ICT機器の利用方法について	情報主任	5月27日 (水)	
5	Q-Uの分析と今後の取り組み (昨年度の取り組みの振り返りを含む)	研究主任	7月 1日 (水)	
6	NRTの分析と今後の取り組み	研究主任 各教科担当	7月 8日 (水)	
7	1学期の研究まとめ 部会研究②	研究主任 部会長	7月15日 (水)	
8	2学期の研究 部会研究③	研究主任 部会長	8月26日 (水)	
9	授業案の検討①	研究主任	9月23日 (水)	
10	授業案の検討②	研究主任	9月30日 (水)	
11	Q-Uの分析と今後の取り組み	研究主任	10月28日 (水)	
12	一人一実践計画・実践	各自	11月11日 (水)	
13	研究授業 (国語) と研究会	研究主任	11月18日 (水)	○
14	一人一実践計画・実践	各自	12月 2日 (水)	
15	研究紀要について 部会研究④ 一人一実践まとめ	研究主任 部会長 各自	1月27日 (水)	
16	研究のまとめと来年度に向けて	研究主任	2月24日 (水)	
17	(予備日)	研究主任	3月10日 (水)	